

●総評●

応募点数は、昨年を少し上回りましたが、今年も低・中学年に力作が集中しました。全体的な傾向としては、作文を書いた後で読み返していない人が多かったことが残念でした。

文部大臣奨励賞受賞作品

できたぞ、できた。さか上がり

群馬県前橋市立芳賀小学校
二年 林 友里

ようち園の時、りえちゃんが、休そうのせん手みたいにかんたんにさか上がりをしていました。わたしにもすぐできるような気がして、「一、二の三。」としたけど、ちつとも足が上がりませんでした。「エイッ！」としてみても、ひざぐらいしか上がりませんでした。こんなにもむずかしいのかでも、二十回ぐらいれんしゅうすればできるようになるかな、と思いました。ところが何十回しても、一どもでできませんでした。一年生になったら、おなかぐらいは足が上がるようになりました。

二年生になって、先生が「てっぽうカード」をみんなにくばりました。シールをはるところがたくさんありました。先生は、「できたじゅんにシールをはれますよ。よくれんしゅうしておきなさい。」とお話しました。わたしの心は、(ようし、がんばるぞー)と思っではり切りました。

後でも、休み時間でも、れんしゅうにつき合ってくれました。

わたしがれんしゅうしていると、「友里ちゃん、まだできなかったん。」と、わらうお友だちもいました。その時は、かなしくなったけど、わたしは、(いつかはできるー)としんじていました。

うちへ帰って、おかあさんに、てっぽうの話をしました。そしたら、

「どのくらいできるかして見せて。」

と言っにわに行きました。(おかあさんの前ではじめてできたらいいなあ。)と思っ、全ぶの力を出して足を上げました。でも、もう少しのところで、足が下におちてしまいました。何回やっても同じです。

「これでやってごらん。」

と、おかあさんは、いたをもつて来てななめにもちました。わたしは、

「えっ、おかあさんがたおれちゃうよ。」

と言ったら、「平気、平気。」と力を入れて、もつてくれました。「エイッ。」といたをけつたら、おかあさんは、(おつとつと)とずっこけそうになりました。おかあさんは、考えて、重いすを二つもつてきて、いたをななめにおいて、いすにこしかけました。それから、(タタタ。)といたのぼつていつて、かるく回れました。その日から、家でも妹とれんしゅうをすることにしました。

何日かたつた体育の時間、さとみちゃんがさか上がりをするのを、いいなあと思って見ていました。うらやましくて、休み時間に一人でれんしゅうしていたら、ちようどさとみちゃんが来しました。

かなづかいや送りがな、段落の組み立て方や言葉の使い方がまちがっていないかどうかを確かめることは、大切な基本です。

今回は、より完成度の高い作品を期待します。

さっそく、休み時間に、大ぜいの子と一しょにてっぽうをしました。何人も、さか上がりができない子がいたので、みんなじゅんばんにならんでれんしゅうしました。でも、その日にできた子は一人もいませんでした。

りえちゃんがようち園の時からできていたので、わたしは、りえちゃんに教わろうと思いました。ほか後、りえちゃんは、楽しそうに足かけ回りをしていました。わたしが、「教えて。」と言うと、すぐ「いいよ。」と言って見本を見せてくれました。あんまりはいいので、回り方が見えませんでした。りえちゃんの体は、じしゃくみたいにてっぽうにくつていて、クルリと回っしてしまうのです。「もう一回してみて。」

と言うと、今どはゆっくりしてくれました。(もともと、うでに力があるのかなあ。わたしにはどうして力がないんだろう。)と、がっかりしました。でも、ここであきらめたら、できるようにならないと思っ、(よし、足が上にいつた時、そこで力をグツと入れればいいんだ。)と、自分に教えました。りえちゃんは、わたしがたのむと、ほうか

わたしが、「教えて。」とたのむと、「いいよ。」と言っ、となりに来てくれました。さとみちゃんが、見本を見せてくれて、つぎは、わたしがしてみました。

「もつと足を上げるんだよ。」

さとみちゃんは、ねっ心に教えてくれました。何回かしていたら、「エイッ。」と、足がうんと上に上がったので、思いきり全ぶの力を出しました。どこかで、「もう少し！」と声が聞こえました。すると、体が自ぜんにうごいて、いつの間にか回っていました。

「友里ちゃん、できたじゃない。よかったね。」

「うん！」

わたしとさとみちゃんは、ニコリしました。

わたしは、生まれてはじめてさか上がりできました。おかあさんに早く言おうと思っ、家に走って帰り、こうさげました。

「ただいま、さか上がりができたんだよ。」

おかあさんは、とんできて、手をにぎり、

「友里ちゃんすごい！」

と、ジャンプを何回もしてくれました。

つぎの体育の時間に、とうとうシールが全ぶはれました。教えてくれたみんなのおかげです。わたしはうれしくてうれしくて、校でい中とびはねたいぐらいでした。

●選評●

さか上がりができるまでの様子が、時間の流れにそつて、ていねいに書かれています。文と文とのつながり、場面から場面への展開も自然です。友人や母との交流を通して作者の心の豊かさが伝わってくる優れた作品です。

んで(愛知教育大学附属岡崎中二年)幡本史子

佳作

わたしのたんじよう日にたべたいよもぎだん(岐阜・大野小一年)鈴木佑美
「白いりゅうと黒いりゅう」を読んで(東京・高井戸小三年)ト部敦史
「そしてトンキョーもんだ」を読んで(愛知教育大学附属岡崎小三年)新井裕吾
「白旗の少女」を読んで(和歌山大学教育学部附属小三年)神柳佳奈
大もりいっちゃん(千葉・中山小四年)斎藤晃一
「すいかの種」を読んで(大阪・南田小四年)忠田愛
大返しさんとガンを読んで(兵庫・愛徳学園小五年)永藤暁子
鳥と少年を読んで(岡山・清心中一年)安達久美子
死ぬ覚悟はできているか(静岡・安東中二年)佐々木ひさ枝
死ぬという事の大切さ(静岡・安東中二年)三宅牧子
二年間の休暇を読んで(静岡・安東中三年)伊藤有紀

習字部門

文部大臣奨励賞

「大切な地球」

(福岡・大和中二年)坂井るみ

優秀賞

「文化」

(奈良・広陵北小三年)植村久哉

優良賞

「自然の美」

(福岡・大和中二年)坂井るみ

佳作

「ぼん」(大阪・茨木小一年)今井哲也

(福岡・大和中二年)坂井るみ

文部大臣奨励賞

「絵日記」

(奈良・広陵北小三年)植村久哉

優秀賞

「えのつぎ」

(岐阜・古川第二小一年)浅田由美

優良賞

「絵日記」

(京都・錦林小二年)野村智広

佳作

「絵日記」

(宮城・古川第二小一年)浅田由美

文部大臣奨励賞

「絵日記」

(岐阜・長良西小二年)川上清香

優秀賞

「絵日記」

(京都・錦林小二年)野村智広

優良賞

「絵日記」

(宮城・古川第二小一年)浅田由美

佳作

「絵日記」

(岐阜・長良西小二年)川上清香

文部大臣奨励賞

「絵日記」

(京都・錦林小二年)野村智広

優秀賞

「絵日記」

(宮城・古川第二小一年)浅田由美

優良賞

「絵日記」

(岐阜・長良西小二年)川上清香

佳作

「絵日記」

(京都・錦林小二年)野村智広

文部大臣奨励賞

「絵日記」

(宮城・古川第二小一年)浅田由美

優秀賞

「絵日記」

(岐阜・長良西小二年)川上清香

優良賞

「絵日記」

(京都・錦林小二年)野村智広

佳作

「絵日記」

(宮城・古川第二小一年)浅田由美

文部大臣奨励賞

「絵日記」

(岐阜・長良西小二年)川上清香

優秀賞

「絵日記」

(京都・錦林小二年)野村智広

優良賞

「絵日記」

(宮城・古川第二小一年)浅田由美

佳作

「絵日記」

(岐阜・長良西小二年)川上清香

文部大臣奨励賞

「絵日記」

(京都・錦林小二年)野村智広

優秀賞

「絵日記」

(宮城・古川第二小一年)浅田由美

優良賞

「絵日記」

(岐阜・長良西小二年)川上清香

佳作

「絵日記」

(京都・錦林小二年)野村智広

文部大臣奨励賞

「絵日記」

(宮城・古川第二小一年)浅田由美

優秀賞

「絵日記」

(岐阜・長良西小二年)川上清香

優良賞

「絵日記」

(京都・錦林小二年)野村智広

佳作

「絵日記」

(宮城・古川第二小一年)浅田由美

文部大臣奨励賞

「絵日記」

(岐阜・長良西小二年)川上清香

優秀賞

「絵日記」

(京都・錦林小二年)野村智広

優良賞

「絵日記」

(宮城・古川第二小一年)浅田由美

佳作

「絵日記」

(岐阜・長良西小二年)川上清香

文部大臣奨励賞

「絵日記」

(京都・錦林小二年)野村智広

優秀賞

「絵日記」

(宮城・古川第二小一年)浅田由美

優良賞

「絵日記」

(岐阜・長良西小二年)川上清香

佳作

「絵日記」

(京都・錦林小二年)野村智広

文部大臣奨励賞

「絵日記」

(宮城・古川第二小一年)浅田由美